

## 平成27年度 地域牛乳・乳製品需要拡大事業 JA今金町女性部



**JA今金町女性部**  
**乳製品料理講習会を開催**

# 第62回JA全国青年大会開催



▲表彰状を受け取る伊藤 司 部長 (写真右)



## ポリシーブックとは

「ポリシーブック」とは自分たちのめざす日本農業のあり方を組織内外に発信するツール、つまり青年部盟友による手作りの政策集です。今金町農協青年部でも、日頃の営農・農政に対する課題や地域活動で抱える課題などそれぞれの考えや想いを出し合い、その解決策を盟友同士で議論しながら積み上げて作っています。

ポリシーブックには「農政活動に活用し行政などに自分たちの意見を訴える政策提言」「自分たちの行動目標」といった役割があり、第27回JA全国大会決議でも、ポリシーブックを若手農業者の意見を集約する重要な手法として位置付けています。



▲全国からたくさんの盟友が集まりました



▲前田代議士を表敬訪問

全国農協青年組織協議会（JA全青協）が主催する第62回JA全国青年大会が2月16、17日の2日間にわたり東京都千代田区の日比谷公会堂で行われました。全国からはJA青年部員ら約1500人が参加。青年部のポリシーブック（政策集）活用やJA運営への参画を通じ、農政の大きな改革期に現場の声を反映していくことが確認されました。

今金町農協青年部からは、伊藤司部長と事務局が参加し、JA全青協が主催する「手づくり看板制作運動ならびに全国コンクール」において「全国消費者団体連絡会賞」を受賞した記念して表彰状と記念品が伊藤部長に授与されました。また、大会終了後には道南地区青年部協議会の役員と共に、前田一男代議士を表敬訪問し、青年農業者の農業に対する熱い思いを伝えました。

## 今金町農協青年部ってどんな組織？



▲視察研修先で記念撮影

今金町農協青年部は昭和33年に創立され現在は部員数57名で活動していて、半数は20代で構成される若い組織です。学習会や道内外の視察研修の実施、PR看板作り、他機関と連携した地域活動等を主に行っています。

作物別に分かれた生産部会とは違い、幅広い品目・経営形態の青年農業者と町内に限らず交流をもてる事も魅力の一つです。農業協同組合の理念のもと、自由な発想と行動ができるのが青年部組織です。



## 檜山地域農業技術支援会議『新技術セミナー』



▲道南農業試験場田中場長による基調講演

2月22日、せたな町民ふれあいプラザにおいて「新技術セミナー」が開催され、農業者をはじめとして関係機関が多数出席しました。このセミナーは道南農業試験場が、新品種・新技術を農業者及び関係機関などに広く周知し速やかな普及を目指す事を目的として実施されています。

当日は基調講演として、近年問題となっている種子伝染等の病害についてや、新技術としてホウレンソウのコナダニ対策、アスパラガスのカメムシ対策や、28年に特に注意を要する病害虫の情報、ハウス栽培窒素量の計算方法などが発表され、参加者は熱心に耳を傾けていました。

## 良質な米麦の生産にむけて



2月24日JA今金町大会議室において、道南地区米麦改良協会主催による「良質米・良質小麦安定生産技術講習会」が行われました。

当日は良質な米麦の安定生産に向けた栽培技術に関する講習の他、ホクレンから米麦の販売状況や今後の販売戦略等についても情報提供がなされました。

特に米については、生産数量目標・直接支払いの廃止など先行きに不安が拭えませんが、消費者に選ばれる「売れる米作り」を加速させるため、更なる品質・収量の安定向上に産地一丸となって努力していきましょう。

## 今金町の未来づくりを考える



▲会場には100名を超える町民の方々が出席しました

2月20日、人口減少社会における今金町の未来づくりを考える「ソーシャルタウン今金町構想フォーラム」が今金町商工会主催により今金町民センターにおいて開かれました。当日は内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局長参事官の五十嵐智嘉子氏ら有識者を迎え、パネルディスカッションのパネリストとして当JAの小田島組合長も出席致しました。それぞれの立場から様々な意見が出され、3時間超にわたる熱いフォーラムとなりました。人口減少の問題は当町でも無視する事の出来ない非常に深刻な問題です。「この町のために何ができるのか」あなたが思い描く町の将来はどんな形ですか？

## 牛乳・乳製品料理講習会が行われました



▲本年参加されなかった女性部員の方も次回は是非ご参加下さい！

2月5日JA今金町女性部は、町民センターにて乳製品料理講習会を開催しました。この取組は、ホクレンが実施している「地域牛乳・乳製品需要拡大事業」を活用し、乳製品の需要の拡大と啓蒙普及を図ることを目的として、毎年行われています。

当日はチーズやバター、生クリームなどの乳製品を使用した料理を、皆さんで持ち寄ったレシピをもとに調理し、楽しく試食されていました。皆さんも家族の健康のためにも、乳製品を活用した料理を是非取り入れましょう。



【氏名】 齊藤 恵太 さいとう けいた

【出身地】 幕別町

【年齢】 24歳 (平成30年10月生まれ)

【所属部署】 管理部管理課

【奉職年数】 1年 (平成27年入組)



「仕事は慣れましたか？  
職場には慣れましたが、まだまだ未熟なので基本に忠実に頑張ります！」

「出身大学などは

帯広畜産大学では食品加工の分野を専攻していました。その後、JALに入社し現在に至ります。

「趣味・プライベートなど教えてください」

趣味は特に無いですが、今は海釣りをやってみたいですね。実家に道具はあるので、誰か船に乗せてください！それと、最近だと町の雪遊びのイベントのお手伝いをさせてもらいました。

「PRを一言

業務では人間ドックや労災加入も担当していますので、ぜひ受診・加入をお願いします。組合員さんと接する機会は少ないですが、ぜひ齊藤恵太の顔を覚えてください！宜しくお願いします！」

## 理事会報告

### 第1回理事会

(平成28年2月25日)

#### ◆報告事項

1. 農業委員会総会報告について
2. 第一委員会の報告について
3. 決算監査の実施について
4. 平成27年度事業決算の報告について
5. 今後のAコープ運営について

#### ◆議決事項

- ・ 議案第1号 固定資産等拡充強化積立金の設定について
- ・ 議案第2号 第48回通常総会の開催日程について
- ・ 議案第3号 冬季懇談会意見・要望に対する回答(案)について
- ・ 議案第4号 5千万円超の信用供与等の承認について
- ・ 議案第5号 5千万円超の信用供与等の承認について
- ・ 議案第6号 不良債権の処理方針について
- ・ 議案第7号 出資持分の譲渡について

### 第2回理事会

(平成28年2月26日)

#### ◆報告事項

1. TPP関連の予算編成について

#### ◆議決事項

- ・ 議案第1号 賦課金の賦課及び徴収方法について
  - ・ 議案第2号 理事者への貯金・共済担保貸付の承認について
  - ・ 議案第3号 理事者への貸付の承認について
  - ・ 議案第4号 理事者への貸付の承認について
- #### ◆協議事項
1. 平成28年度事業計画について

# 所得増につながるより強固なプラットフォームへ

株式会社セイコーマート 社長丸谷智保氏

J A北海道大会で開催したパネルディスカッションでパネリストの皆さんから提言頂きました「北海道農業とJ Aグループに期待すること」を紹介する全5回シリーズの2回目です。



**丸谷 智保氏**  
(まるたに ともやす)  
株式会社セイコーマート社長

第2回は、丸谷智保氏の提言を紹介します。

## 流通機構、構造を簡素化して中間マージンの排除

セイコーマートグループ全体で農業法人として108haを耕作しているが、農業における流通機構、構造をより簡素化して、中間マージンを排除し、農業所得に振り向けることが重要だと思う。そのためにより強固なプラットフォーム（基盤）として、農協あるいは中央会の必要性はより強まっている。それから、例えば、簡素な、効果的な流通機構という点については、歩留りを上げるため非正規品、ハネものが流通する市場をつくる。常に苦労する歩留まり向上にどれだけ繋がるマーケットを創造できるか。

## 海上輸送の効率化

我々も物流には苦労している。遠い農村から市場の都市あるいは首都圏へ物流するコストは非常に大きい。北海道は、どうしても海上輸送が必要になるが、これを効率化する。そういう意味でも組織の意味は強い。

効率化を進めることで、所得を増加させ、配分を変えていく。また、プラットフォームである農協が商品の価格を評価し、即買い取り、即支払う仕組みを作ってはどうか。資金繰りの向上につながる。その他に、農繁期の人材の確保、販路拡大。これらは今でもやっているが、より強固にしていく。

そして安定供給、物流面での大胆な提言、これは政府に対してもやっていく。こういったことをすべき組織としてより強いものを作っていたらどうか。

## 戦から外交戦略へ

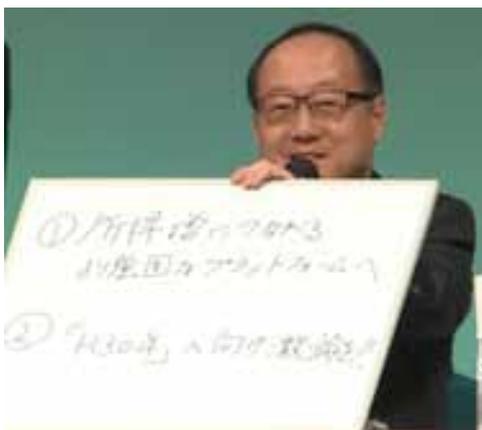
平成30年に向けて激論をし、結論を出してほしい。もうその時期に入っている。これから平成30年の大会に向けて、守るとか防衛するという戦をするのではなく、外交戦略・外交交渉をすべきではないか。

戦と外交の違いは、戦は勝つべき戦だが負けるかもしれない。外交は100%はとれないが、最低限守るべきものは守る、あるいは主張すべきものは主張してとる、ということ。そういったことを踏まえた真摯な議論・激論、そして結論を出すことをご提言申し上げたい。

今回、所得増の具体的な数値目標を掲げたのは素晴らしい。議論を尽くして、2つでも3つでも具体論に結び付ける。やって、だめだったらまた

たやる。

物流を見直す、法律化する、政府から引き出す。例えば、農産物を運ぶのに高速道路を使えばタダにする。フェリー代を安くすれば、競争力のある農産物をもっと本州に出せるかもしれない。所得の分配に結び付く具体的な議論をして一致団結してぶつける外交交渉に入っていくべきではないか。



## 最後に一言

セイコーマートでは、ほとんど北海道の原材料、農産物を使っており、大地の恩恵をものすごく受けていると感じる。北海道は特別な地域だが、中央では、ひとくくりで見られている。550万人のサポーターを味方につけて、北海道から日本全国の農業の重要さを、ぜひ組織力を発揮して発信して頂きたい。

# 平成28年の米づくりに向けて

近年の気象変動は大きく、天候不順は米の品質や農作業に大きく影響しています。このことから、初期生育を良好にし出穂前の生育を良好に促すとともに、適性籾数を確保した登熟の良い米作りが必要で

す。栽培の基本事項をご紹介しますので、本年の米作りにご活用下さい。

## ◎水田を乾かす ～溝切りは効果大～

地温を高め土壌窒素を早期に発現させることは、稲の養分蓄積を高め、生育を促すことにつながります。

溝切りの施工などで停滞水を排除し早く乾くように努めましょう。また、融雪の遅れやすい場所は、融雪材の散布や心土破砕を組み合わせていることが効果的です。

## ◎穂揃いを良くする

### ポイント① 早期異常出穂の防止

早期異常出穂は、通常の葉数を確保しないうちに幼穂ができ、早期に主茎のみが出穂し、分けつの発生が減少する現象で早生品種などの感温性の高い品種に見られます。育苗後半(25葉以降)の高温管理(25℃以上)で発生しやすい。

また、成苗ポット苗はマット苗よりも高温になりやすいので、育苗後期の温度管理は特に注意するとともに、育苗日数は30～35日程度とし作業計画を立てましょう。

### ポイント② 適期移植

～目標は5月25日までに植える～

品質・食味・収量を確保するためには、安全出穂期間内に出穂させることが基本です。移植から出穂までに簡易有効積算温度1000℃以上必要なので、5月25日まで移植を終わらせることが重要です。

## 水稲育苗の要点(中苗マット)

区分	播種～出芽揃	出芽揃～1.5葉	1.5～3.0葉	3.0葉～移植
適温	32℃	20～25℃	20℃ 夜温を下げすぎないように注意	18～20℃ 外気温に慣らす。夜間は10℃以下にしない
水分	種籾が乾かないよう十分灌水する	床土表面が乾くまで節水	葉がまかないよう注意	過湿より過乾に注意

## 管理上のポイント

保温に努め、出芽をそろえましょう。

根の伸長を促すため、**過灌水に注意**しましょう。中苗では追肥は1.5葉期行い、「タチガレエース液剤」をかん注することで発根量が増大します。

2.5葉期以降の高温管理は早期異常出穂が出やすいので注意しましょう。中苗では2.5葉期に追肥することで苗質の向上が期待できます。

35日の育苗期間を越える場合は、老化を防ぐため3回目の追肥を行います。追肥時期は移植の3～5日前を目安にしてください。

## ポイント③ 栽培密度の確保(80株/3.3㎡以上)

栽培密度を高めること(株間と株間の距離は12.5cm以下)は、生育の揃った茎数を早期に確保し、遅れ穂(幼穂形成期以降の分けつ)が少なく、穂揃いは良くなります。そのため、登熟は良好で品質・食味・収量は高まります。

## ポイント④ 側条施肥の導入

栽培密度を高めるだけでは不十分な場合、側条施肥と組み合わせ、初期生育を促進させることが必要です。側条施肥は、移植された苗の横3cm深さ5cmの位置に施肥するので、速効的で肥料の吸収効率が高く、初期茎数の発生促進効果も高まります。特に、側条による肥料は6月中に吸収されるので、7月以降の遅れ穂の発生が少なく、穂揃い性が向上します。また、側条施肥は施肥効率が高く、全層施肥に比べて10～20%減肥が可能です。

## ◎無理のない施肥で中位な稲づくり

～多肥は過剰籾となり死米など多くする～

多肥栽培や安易な追肥は、過剰な籾数となりやすいため、全ての籾にデンプンが十分分配されないうちに気温が下がり、登熟が進まず死米や未熟粒になりやすくなります。無理のない窒素施肥量と適正な籾数確保(32,000～34,000粒/㎡程度)で品質を高めることが大切です。

## ◎深水管理の実施

～不稔防止と過剰分けつ抑制で適正な籾数を～

幼穂形成期から約20日間は稲一生の中で最も寒さに弱く、不稔発生と密接な関係があります。深水の保温力で寒さから幼穂を守り稔実性を高めることが重要です。また、前歴期間の深水は、幼形期以降に発生する過剰分けつを抑制し、有効茎歩合を高める効果も同時に認められ、過剰分けつの場合には、水稲の生育コントロールにも結びつきます。深水管理の実施には、20cm程度の深水管理ができる高畦が必要です。畔塗り機を活用し畦の補修を行うなど万全の準備を図ってください。

## 生産資材課より 国営緊急農地再編整備事業にかかる土壌診断助成について

日頃、生産資材課事業に対し格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。  
 標記の件につきまして、基盤整備施工圃場の土壌診断について、下記の通り助成致しますので、土壌サンプルの提出をお願い致します。



【土壌診断助成対象】国営緊急農地再編整備事業施工圃場

【土壌診断依頼先】ホクレン

【生産者負担額】1,000円/1筆

※土壌診断料は2,000円ですが、JAより1,000円/1筆を助成させていただきます。  
 (いずれも税抜き額での表記です)

【その他】

- ・土壌診断結果については、繁忙期のため約2ヶ月の時間を要しますのでご了承下さい。
- ・1～2次早取り肥料については、申込次・成分数量にて早取り対応で交換致します。

【お申込・お問い合わせ】生産資材課まで 電話82-1768

## 管理課より 労災保険(労働災害補償保険)に加入しましょう！！

皆様、労災保険に加入されているでしょうか？春耕期も目前となりましたが、万が一の備えとして経営者の方・従事されるご家族皆様方のご加入を是非ご検討下さい。

農作業事故を未然に防ぐ事が最善策ではありますが、残念ながら北海道では平成17年から26年の平均で、年間2,221件の負傷事故が発生しており、死亡は年間20件発生している状況にあります。また、現状として全産業の4倍以上の死亡事故発生率となっており、今まで最も危険な産業だった建設業の死亡事故発生率を越えて、農作業がワースト1位となっています。

加入条件・申込方法など詳細については、正組合員の皆様へハガキで個別にご案内しております。ご不明な点がございましたら管理課までお問い合わせ下さい。(電話82-0211)

### 補償の内容について

**療養補償給付  
療養給付** ●農作業事故によるケガや病気を病院等で治療する場合  
**必要な治療が無料で受けられます。**

**休業補償給付  
休業給付** ●農作業事故によるケガや病気の療養のため労働することができない日が4日以上となった場合  
**休業4日目以降、休業1日につき給付基礎日額(日給相当額のイメージ)の60%の休業補償と、20%の特別支給金の合計80%相当額が支給されます。**

**障害補償給付  
障害給付** ●農作業事故によるケガが治った後に障害等級第1級～第7級又は、第8級～第14級までに該当する障害が残った場合  
**障害の程度に応じた年金または一時金が支給されます。**

**遺族補償給付  
遺族給付** ●農作業事故により死亡した場合  
**遺族人数に応じた遺族年金または遺族一時金が支給されます。**

**葬儀料  
葬儀給付** ●農作業事故により死亡した方の葬儀を行う場合  
**給付基礎日額に応じた額が支給されます。**

**傷病補償年金  
傷病年金** ●農作業事故によるケガや病気が療養開始後1年半を経過した日に、ケガや病気が治っておらず、障害の程度が傷病等級に該当する場合  
**障害の程度に応じた額が支給されます。**

### よくある質問(Q & A)

**質問** 労災保険に加入すると、どのようなメリットがあるのですか。

年収に応じた保険料で、万が一の農作業事故に備えた様々な補償が受けられます。例えば、農作業事故に遭い、1ヶ月休業しなければならなくなった場合、  
 ・療養補償により必要な治療が無料で受けられます。  
 ・給付基礎日額が1万円の場合、休業補償と特別支給金で1ヶ月につき216,000円給付されますので、この資金を活用してヘルパーなどを雇用できます(この場合の年間保険料は32,850円(1ヶ月当たり2,738円)です。)

**質問** 農業者なら誰でも労災保険に加入できるのですか。

専業農家はもちろん、兼業農家であっても、一定の農作業に従事する農業者本人は特別加入制度を利用して労災保険に加入することができます。

**質問** 労災保険の特別加入は、どこに申請をすればいいのですか。

加入窓口である「特別加入団体」または「労働保険事務組合」に加入申込をする必要があります。JAなどが特別加入団体になっている場合がありますので、お近くのJAや都道府県労働局にお問い合わせいただき、加入窓口の確認をしてください。

ところで...  
 みなさんが雇っているパートやアルバイトの方々も労災保険に加入できます。  
 ・常時5人以上雇っている場合または法人の場合は強制加入です。  
 ・常時5人未満の場合は任意加入ですが、農業者本人が特別加入している場合やアルバイトやパート等の方の過半数が希望する場合は強制加入になります。



※農林水産省、厚生労働省資料より



新婚さん

いらっしやい♡



土橋 龍二

生年月日：昭和63年 10月 15日

土橋 真以 (旧姓：萬谷)

生年月日：平成3年 5月 8日 出身地：今金町

―二人の出会い―

高校の部活です(バドミントン)

―お互いの第一印象はどんな感じでしたか―

- ・龍二〜同級生の妹だなあ
- ・真以〜おっかない

―二人の趣味は(特技でも可)―

- ・龍二〜バドミントン、ゲーム
- ・真以〜バドミントン

―お互いの「好きな所」と「直して欲しいところ」はなんですか?―

- ・龍二 好き〜頑張り屋なところ  
直して〜寂しがり屋なところ
- ・真以 好き〜真面目なところ  
直して〜ゲームばかりするところ(笑)

―どんな家庭を築きたいですか―

お互い支えあいながら、暖かく、明るい家庭を築き上げていきたいです。

―二人で行ってみたい場所、思い出の場所などあれば教えてください―

行ってみたい場所〜京都、沖縄  
思い出の場所〜今金の夜景が見える所。

―お互いへ、メッセージを一言お願いします―

- ・龍二〜これから楽しく一緒に支え合ってください!
  - ・真以〜いつも家事を手伝ってくれてありがとう!
- 頑張っついでゆくのだからよろしくね。

※このコーナーでは、農業の担い手を紹介していきます。

J A 広報いまかね 484号 平成28年3月1日発行

◇発行 今金町農業協同組合 ◇住所 〒049-4397 北海道瀬棚郡今金町字今金 141 番地

◇電話 0137-82-0212(直通) FAX 0137-82-0854 ◇編集 営農部 農業経営課 ◇印刷 今金はやし印刷社